

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部	高齢福祉課
施設名称	[29] 東京都台東区立せんぞくデイホーム	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区千束3-28-13 [規模] 延べ床面積 6,733.87㎡のうち755.5㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階のうち5階の部分
(3)	[委託事業] ①認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等）②介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 認知症対応デイ：12名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(6)	[人員体制] 4名（内訳）相談員2 介護職員（非常勤1）看護職員1

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	11,500,000	11,500,000	11,586,000	5,932,203
	利用料金収入	30,445,000	30,539,563	28,411,000	34,800,950
	その他収入（ ）	656,000	0	0	0
	計	42,601,000	42,039,563	39,997,000	40,733,153
支出	人件費	23,994,000	21,358,873	21,551,000	26,732,967
	光熱水費	4,343,000	2,788,046	3,135,000	2,466,553
	維持管理費（委託料・賃借料）	8,239,000	8,286,485	8,609,000	7,373,883
	修繕費	754,000	0	1,054,000	0
	事業費	0	0	0	0
	その他支出	5,271,000	3,288,071	5,648,000	19,159,750
	計	42,601,000	35,721,475	39,997,000	55,733,153
収支			6,318,088		-15,000,000

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	312	311	312	312
定員	人	12	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用率	%	75	65.8	65.4	73.7
利用者数	人	2,810	2,454	2,448	2,759

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況	
ニーズの高い入浴サービスの時間枠を増やす等の取組の結果、利用率を上げることができた。地元の行事への参加等、地域社会との連携も継続的に取り組んでいる。	

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	特養千束の介護職員や認知症デイサービス職員等、施設が一丸となって、「認知症ケアのワークショップ型事例検討会」に家族と共に参加するようにして、個人の事例検討を行う等、適正な運営を継続する積極的な取り組みが行われている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	利用希望者等が見学を希望する場合は積極的に受け入れると共に、送迎や食事体験等も行い、また認知症の利用者の心を癒す効果が期待できる玩具療法についても個々の利用者に合ったものを体験してもらう仕組みを設けて紹介する等、利用率向上に努めている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	複合施設として、特養千束と共に、建築設備や清掃を一括して委託し、適切な建物管理が行われている。また、月に1回の巡視をし、危険個所の把握に努めている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用者の要望が多い入浴サービスに関して、入浴方法(入浴時間、入浴枠)を増やしたり、玩具療法を取り入れ継続的に行う等、サービス向上と高い利用率を維持している。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用率・利用者数の増に伴い、利用料収入が増となる一方で、収支が赤字になっている。これは本部会計繰入によるマイナスであり、事業活動による収支は適切に執行されている。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (100 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>要望の多い入浴サービスの時間枠を増やしたり、認知症の利用者の心を癒す玩具療法を継続的に行うなど、サービス向上に取り組んでいる。今後は、利用者サービスの高い水準を保ちながら、効率的な運営を行い利用率の向上に努める必要がある。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費支出を含め、適正な収支計画に基づく、より一層の収支の改善が必要である。